

# 静物

身近なものへのまなざし



長宗希佳 (称名寺を眺む)  
1988年 / 油彩、キャンバス /  
116.7x80.3cm

特別展示 ながむねきよし 長宗希佳の幻想



杉浦勝人 (飛ぶ) 1984年 / 油彩、キャンバス / 129.0x89.0cm



木下孝則 (バラ) 1959年 / 油彩、キャンバス / 80.0x65.3cm

2009年 10:00~18:00 (入場は17:45まで)

2月25日 水 ~ 3月2日 土

横浜市民ギャラリー  
3階 C 展示室 **入場無料**

主催：横浜市民ギャラリー(横浜市芸術文化振興財団)  
後援：横浜市民活力推進局、横浜市教育委員会、神奈川新聞社、tvk  
RFラジオ日本、FMヨコハマ、横浜市ケーブルテレビ協議会  
協賛：神奈川二紀会、爽蒼美術協会、横浜美術協会、横浜美術友の会 (五十音順)





# 静物

画とは果物、器物、切り花など、日常の中の身近なものを描いた絵画のジャンルで、その英訳“still life(スティル・ライフ)”は、「静止したモデル」を意味するオランダ語を語源としています。西洋の静物画は、17世紀頃のネーデルラント(現在のオランダやベルギーなど)を中心に発達し、描かれるモチーフに固有の意味を込めた「寓意画」がよく描かれました。近代以降はセザンヌやゴッホをはじめとする多くの画家たちが、自らの造形理念をあらわすため、さまざまな表現方法で静物画を制作するようになり、明治以降の日本の画家たちにも大きな影響を与えました。

戦後を中心とした市民ギャラリーのコレクションの中にも、多様な静物画があります。今回はそれらの中よりおよそ45点を選び、3部構成でご紹介します。このテーマにちなみ、第一セクションは横浜ゆかりの画家・長宗希佳(1937~2006)の特別展示とし、写実的な静物が空中に浮遊するような、寓意と幻想に満ちた同氏の作品をご紹介します。静物という身近なものへの注がれた各作家のまなざしを反映する、多彩な表現をお楽しみください。

## 出品作家名

浅見信夫  
安喰虎雄  
伊澤美都子  
伊藤三喜庵  
岩田榮之助  
内田京子  
岡田 博  
川口 栄  
川村信雄  
木下孝則  
坂口 登  
阪本文男  
島田正次  
志村計介  
杉浦勝人  
園山晴巳  
竹中恵美子  
寺田春式  
長宗希佳  
野田弘志  
長谷川 潔  
兵藤和男  
深見まさ子  
堀江佑造  
松島一郎  
森 秀男  
山崎秀夫  
吉仲太造  
四谷十三雄  
利涉重雄

## 1 特別展示 長宗希佳の幻想



当ギャラリーの収蔵作家でもある長宗希佳は二紀会委員、爽蒼美術協会会長、横浜美術協会会長、横浜美術友の会会長をつとめ、横浜の美術の発展に尽力した洋画家です。長宗氏の作品には緻密に描かれた壺や時計、トランプなどの静物が登場します。これらの静物と人体や風景とが画中で融合し、ともに浮遊するような幻想的な作品世界を、収蔵作品を中心に紹介します。

長宗希佳  
《横浜市庁舎を眺む》  
1988年/油彩、キャンバス/  
116.7×80.3cm

## 2 卓上の静物

主に油彩、日本画、版画の中より、卓上の静物を描いた作品をご紹介します。花瓶に活けられた花など共通する主題であっても、色彩や構図、筆づかいなど作家によって多様な表現が生まれます。



浅見信夫  
《花(品置一里塚)》  
1988年/紙本着色/  
80.0×100.0cm



安喰虎雄  
《かに》  
1973年/油彩、キャンバス/  
45.0×53.0cm

## 関連事業

### ● スペシャル・トーク

講師：市川保道氏(日本画家、多摩美術大学名誉教授)  
日時：3月1日(日) 14:30~15:30

### ● ボランティアによるギャラリー・トーク

市民キュレーターとして長宗希佳の画業や作品を研究した登録ボランティアが、ギャラリー・トークをおこないます。  
2月27日(金)、3月4日(水)、9日(月)、15日(日)、17日(火)  
時間はすべて 14:30~15:00

### ● 学芸員によるギャラリー・トーク

日時：3月20日(金・祝) 14:30~15:00

### ● 鑑賞ワークシートの配布

### ● ハマキッズ・アート鑑賞教室



小学生を対象としたギャラリーツアー。参加者が学芸員とディスカッションをしながら、楽しく美術鑑賞をします。

日時：3月7日(土) 14:30~15:30 先着20名程度。  
当日14:00より会場入口にて受付をします。

## 3 表現の中の静物

卓上を離れ、抽象性の高い表現や幻想的な表現、空想上の静物など従来の静物画の枠を超えたユニークな作品を紹介します。



吉仲太造(夜) 1974年/油彩、シルクスクリーン、キャンバス/  
91.0×117.0cm



阪本文男(赤い蓮花のバラ) 1970年/油彩、キャンバス/  
130.0×162.1cm

※おことわり 掲載作品の中に、著作権を特定できないものがあります。お心当たりの方は申し出ください。  
・展覧会の内容に、一部変更を生じることがあります。

## 爽蒼美術協会 みずゑ展

2009年 6月8日(月)~14日(日) 横浜市民ギャラリー  
公募第26回 みずゑ展

## ハマ展アートフェア'09 横浜開港150周年

第65回記念ハマ展特別企画「横浜文化・美の系譜」  
絵画、彫刻、写真の開港から今日に至るまでの横浜美術の流れを展示  
「はがきdeアート赤レンガ」誰でも参加! あなたのはがきアートを赤レンガに

### 会場・問い合わせ 横浜市民ギャラリー



〒231-0031  
横浜市中区万代町1-1  
(教育文化センター内)  
TEL: 045-224-7920  
FAX: 045-224-7928  
e-mail: ycag@yaf.or.jp  
http://www.yaf.or.jp/ycag/  
■横浜営地下鉄  
「伊勢佐木長者町」駅下車  
2番出口より徒歩5分  
■JR「関内」駅下車  
南口より徒歩1分

## 第40回記念 神奈川二紀展 開催

(予告)  
2009年 6月8日(月)~14日(日)  
神奈川県民ホールギャラリー 新人出品可  
問い合わせ先 中村智恵美 TEL 044-272-5033(事務局)  
中村幸男 TEL 045-365-5820(支部長)